

日野市議会議員

せきともこ

都民ファーストの会

プロフィール

鹿児島県徳之島出身。日野市で女性活躍推進、創業支援に12年取り組む。また仕事をしながら義父母の介護、看取りを経験し、現在は遠距離で認知症の実母の介護中。日野市日野在住。
家族：夫・長女・長男・トイプードル



1. 令和8年度 第1回定例会を終えて

働く人も支える人もみんなと「とも」に未来をつくる！

令和8年第1回定例会（3月9日～4月6日）が開催され、令和8年度一般会計予算・特別会計予算をはじめ、多くの議案が審議されました。

私にとって初めての市議会定例会となりましたが、本会議での一般質問、委員会審議、予算審査に取り組み、市民生活に関わる課題について提案を行いました。

今回の議会レポートでは、初めての一般質問を中心に、本議会で議論された内容をご報告します。

2. 委員会について

「企画総務委員会」に所属に決まりました。企画部、総務部、会計課、選挙管理委員会、監査委員会などを所管し、市政運営の根幹に関わる幅広いテーマを扱う委員会です。今回の委員会では、「日野市企業版ふるさと納税基金条例の制定」「日野市組織条例の一部を改正する条例の制定について」など、14議案を審議しました。

※日野市には以下の3つの委員会が置かれています。企画総務委員会／民生文教委員会／環境まちづくり委員会
議会に提出された議案や市民から提出された請願は、議員全員で審議するわけではなく、議案の分野ごとに「付託」といって委員会で審議されます。その結果を参考にして、最終的に、全員が出席する本会議で議決されます。

3. 予算概要

一般会計に特別会計をあわせた予算総額は、1,475億2,997万円で、対前年度比82億7,033万円(5.9%)の増となり、過去最大となりました。財政非常事態宣言は解除されたものの、まだ「余裕ができた」と言える状況ではなく、基金や市債に頼らない持続可能な財政運営が引き続き課題です。その中で、物価高から市民生活を守る支援、子ども・福祉・医療、学校や児童館・橋や道路、市営住宅の整備など、「暮らしの安心」と将来への投資に重点的に予算を配分しています。

【主な政策（抜粋）】

物価高騰対策

プリペイド型ギフトカードの給付
省エネ家電買換え促進補助事業
市立小・中学校の学校給食費を引き続き全額公費負担
商店街チャレンジ戦略支援事業
物価上昇分を適正に転嫁するための増額予算

安心感ある豊かな生活環境づくり

市役所通りの無電柱化
GISと連動し「災害情報システム」の構築
農業経営の強靱化を図る補助事業を拡充
都市計画道路3・4・24号線の築造に向け再設計

市民がより健やかに暮らすためのサービス展開

ウォーキングアプリを開発運用
第5期日野市食育推進計画を策定
胃がん検診を内視鏡検査に一本化
高齢者の命を守るために、個別避難計画の作成
特定不妊治療費への助成制度を創設
日野市立病院は、地方公営企業法の全部適用

子どもたちを育む環境整備

まんがんじ児童館の建て替え
万願寺中央公園のインクルーシブ遊具の設置
およびトイレ改修
こども誰でも通園制度
小学校3校、中学校4校の屋上等防水修繕
日野第一小学校の改築と南平小学校の長寿命化改修

4. せきともこ 一般質問（概要）

一般質問とは、市議会議員が市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる、と定めています（日野市議会会議規則第62条）。市の仕事全般について、市長や教育長、担当部署などに「現状はどうなっているか」「今後どうしていくのか」を直接たずねる場です。

議会の様子は、議事録のほかにアーカイブ動画で日野市HPより視聴できます。→
<https://hino-city.stream.jfit.co.jp/>



【テーマ1】 猛暑下における市民の安全確保と横断的暑さ対策について

＜質問・提案＞	＜市の答弁＞
公園に日陰や東屋を増やし、子どもが安全に遊べる暑さ対策を進めるべきでは。	東屋など屋根付き休憩スペースの必要性を認識し、補助金活用も含め検討する。
東京都の補助も活用し、屋内遊び場やプレーパーク支援を充実できないか。	プレーパーク支援や児童館活用を進め、都制度の動向も注視する。
クーリングシェルターや高齢者熱中症対策をさらに戦略的に進めるべきでは。	市内42か所に設置し、戸別訪問や啓発等を実施している。
建設業・農業など働く現場の暑さ対策も後押しできないか。	商工会等と連携し、周知や補助活用による支援を進める。

【戦略的視点】 個別の暑さ対策だけでなく、猛暑対策を市全体の横断的・戦略的政策として位置づける必要性を提起しました。そのうえで支援からこぼれ落ちる人を生まない仕組みへ、「使える支援」が見える形へ、そして猛暑対策は“コスト”ではなく未来への投資として捉える視点を訴えました。



【テーマ2】 子どもの不登校に伴う保護者の就労影響と校内別室支援の充実について

＜質問・提案＞	＜市の答弁＞
不登校が保護者の就労や家計に与える影響を政策課題として捉えるべきでは。	ひとり親家庭などでは深刻な影響もあり得ると認識し、相談支援を行っている。
保護者が働き続けられる環境を支える視点が必要では。	就労支援制度と連携し、伴走型支援を行っている。
校内別室支援をさらに充実させるべきでは。	校内の居場所づくりは重要であり、充実を進めていく。
校内別室支援は、保護者の就労継続を支える役割もあるのでは。	学びの保障と居場所づくりを進め、支援を推進していく。

【戦略的視点】 校内別室支援は、子どもの居場所づくりにとどまらず、保護者が仕事を続けられる環境を支える仕組みでもあります。私はこれを、教育・福祉・就労をつなぐ「安全装置」として充実を求めました。



市政・市議会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL:070-4018-9051
 E-mail:office@seki-tomoko.com

日野市議会議員／都民ファーストの会

せきともこ



せきともこ
 公式ホームページ/Instagram
 日々の活動を報告しています。

